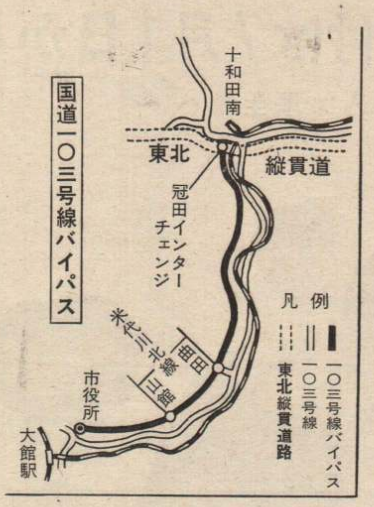
103号線バイパスは建設省直轄で……

夢のハイウェー，東北縦貫道路は昭和50年には鹿角市に達し，鹿角市から東京までわずか6時間余で行けるようになる。この縦貫道を最大限に活用し，現在の国道103号線のほかにこの縦貫道に連結するバイパスが必要ということから，6月3日，当市役所で鹿角，能代，大館，山本，北秋の18市町村があつまり「国道103号線直轄改築期成同盟会」を結成し，新バイパスの建設とその工事を建設省直轄で行なうよう関係機関に働きかけることにしました。

計画によると，市役所前から山館→曲田（米代川北線として今年完成）を経て縦貫道のインターチェンジになる冠田までの間に，現在の103号線の北側にそって新バイパスを新設しようとするもので，その距離は市役所と山館間4.5Km，山館・曲田間の米代川北線は4Km曲田・末広間9.5Km，末広・冠田間4.8Kmで総延長22.8Kmになります。

同盟会では，現在すすめられている米代川北線と十和田南バイパス線を含め，建設省直轄のもとに昭和50年までには是非とも連結させて欲しいと，目下建設省に陳情を重ねており，その見とおしは決して暗くないものという見地に立って今後関係機関との折衝を強めていくことにしています。

もし，このバイパスができると，市役所から冠田インターチェンジまで，車で約25分で結ばれることになり，この時間の短縮は本市と太平洋側との経済，文化の交流面からいって果す役割は大きく，現在猛運動を展開している新幹線の誘致運動とあわせ，本市の二大運動として市民の福祉向上のためにも是非とも実現しなければなりません。市としてもこの二大運動を推進するにあたっては市民の理解と協力をのぞんでいるところです。



市庁舎改築で 一部配置替え

みなさんがすでにご存知のとおり市庁舎の増改築工事が行なわれております。これは建設省が施工する国道7号線大館バイパス改築工事によって庁舎敷地と建物の一部が除去されるためです。工事の期間は増築する部分を6月末に完成し，ここに移ったあと直に西側の一部をとりこわす作業にかかり8月末日までに完了する予定です

この工事のため関係する一部の課がつぎのように配置替えになります。ご不便をおかけしますがよろしくご協力ください。

市民相談室……市民課の向い市民サロンのところ。
収入役
収入役室出納係
秋田銀行大館市役所派出所
}1階右側で1番奥の方，もと税務課固定資産係のあと。
収入役室用度係……庁舎の裏，職員会館内
総務課文書係　浄書計算係……増築建物の2階

休耕田の確認もれは ～農林課へ～

6月中旬より休耕田の確認作業を行なっており，市の調査員が確認した場合には，立札にその旨，記入（サインなど）してきますが，調査対象が多く，いたるところに点在していたり，申告者と立札の表示が違うために確認もれのあることもあります。

もし調査日が過ぎても立札に確認サインのないときは農林課（2－1212内線286）へご連絡ください。

6月定例市議会の結果

（会期6月10日～6月16日）

◆清風荘の条例できる

現在，雪沢に建設中の市民の保養所「清風荘」は，予定どおりいくと**8月1日オープン**します。

市が建設した市民の保養所としては峠の家，身障者センターにつぐ3番目の保養所になります。今度の市議会では，この管理，運営に関する条例がつくられました。

◆一般会計補正予算

一般会計の歳入，歳出に8，064万2，000円を追加したため，一般会計のそれぞれの**総額は31億3，590万円**になりました。

歳出の中から新しい事業など，主なものは下記のとおりです。

- ◉市庁舎の非常照明設置工事，庁舎前の整備，庁舎の水道受水そうなどに734万円。
- ◉母子栄養食品支給に229万円（別記）
- ◉葛原，赤沢線の改道工事に350万円。
- ◉東橋の補修工事に240万円。
- ◉桂城公園の便所新設に111万円。
- ◉桂城小学校新築第2期工事費の追加として1，383万円。
- ◉下川沿と二井田公民館の非常用照明設置に104万円

◆母子に牛乳を支給

秋田県では**出産時に母子の健康保持のため**牛乳を無料で支給してきましたが，7月1日から，大館市でもつぎの区分で牛乳を無料支給することに決めました。

＜市費で支給される区分＞

生保世帯……270本
市税が非課税の世帯……180本
市税が均等割のみの世帯……100本

＜県費で支給される世帯＞

市税，県税を納めている世帯……75本

申請は市民課の窓口へ

◆釈迦内に簡易水道

釈迦内の本郷，山神台地区に簡易水道を布設することにし，その工事費として3，139万円を計上，年度内に完成させることになっています。

◆寄附金は育英資金へ

花岡町の**白川松三**さんから，先月市の仕事に役立てて欲しいと300万円の寄附をいただきました。

市では，この寄附金を育英資金特別会計に繰り入れ，育英資金の充実をはかりつつ，優秀な人材の育成に役立てることにしました。

納税組合長会議開く

市の納税貯蓄組合連合会の定例総会が6月20日，市民体育館で開かれました。この日の総会では規約や47年度予算を審議したあと，永年連続完納組合に対する表彰の伝達式がありました。

受彰された組合は，5ケ年連続完納として3組合，10ケ年連続完納組合として15組合が該当し，5ケ年連続には金杯，10ケ年連続には金一封がそれぞれ市長から手わたされました。

市の納税組合は現在，138組合，この納税組合で扱かう市税は2億7，487万円（46年度）におよび，その全体の収納率は95.8％（2億6，334万円）という，好成績をあげております。

＜10年連続完納組合＞　（　）は組合長

愛宕町納組	（成田三五郎）
北鹿新聞社納組	（明石　礼治）
大館運輸納組	（坂上　正一）
片岡木材納組	（竹内　貞三）
雪沢納組	（佐々木茂見）
川口第一納組	（佐藤　一男）
本宮納組	（富樫金次郎）
大滝第2納組	（藤島辰三郎）
平内納組	（近藤　玉吉）
沢尻納組	（田村　晃）
葛原納組	（佐藤宇一郎）
道目木納組	（奈良仁吉郎）
本郷上納組	（成田　嘉助）
士目内納組	（大森　甚吉）
白沢にこにこ	（福士　久造）

＜5ケ年連続完納組合＞

比内町役場納組	（阿部　繁雄）
・池内第一納組	（若狭　辰蔵）
出川納組	（佐藤　清助）

市史編さん

刊行は昭52年をメドに……

大館市の編さんの仕事が順調にすすんでいる。一昨年の10月からはじめた編さんの仕事は，いままで10人の編さん委員の方々によってすすめられ，以来，資料の収集と市史編さん上本市と関連の深い平泉，盛岡，日立水戸などの調査に出向くなど，基礎調査に専念してきたところです。

ことしに入って，5月には編さん委員を改組し，委員を10人から15人に増やす一方，いままで委員であった方々を含めた専門委員（実際に執筆や調査にあたる方々）も委嘱し，市史編さんの仕事もいよいよ軌道に乗りました。

＜編さん要綱＞

編さん委員会で確認した編さん要綱は，まず，市史編さんのその目的として，郷土の歴史発展の過程を後世に伝えるとともに，うすれゆく郷土意識の高揚を図ることにしている。そして，市制施行25周年にあたる昭和52年までには5巻におよぶ市史を刊行することにしている。

◉基本方針

そして，編さんの基本方針として，内容は，市民の方々に親しまれ，わかってもらえる通史ということに編集の重点をおくことにしている。

また，市史の巻数は全5巻の刊行を計画し，その内訳として，

本　編
- 考古，古代，中世編
- 近世編
- 近代，現代編

別　巻
- 民俗，文化，工芸編
- 年表，索引編

以上の5巻を予定し，刊行部数を各巻とも1，000部（A5判で，各巻とも500ページ程度）としている刊行の時期は，昭和50年10月までには，1～2巻を刊行し，昭和52年までには全5巻の刊行を終えたいという，編さん委員会の方針です。

市史編さんの仕事は，史跡の発掘をはじめ古文書の解読，資料の収集，調査などで歴史の確証をつかみながら進めていかねばならないため，一朝一夕に編さんできるものではなく，それだけに編さん委員の方々も大変な苦労があるわけですが，はじめての市史編さんということでもあり，りっぱなものを刊行していただくよう，市内の皆さんとともに側面から協力していきたいと思います

＜調査資料の有料領布＞

市史刊行会で刊行している，調査資料集（4集）をご希望の方に領布します。残部が少ししかありませんので希望者は早やめに企画室へお申し込みください。

第1集	一関家文書目録	150円
第2集	縄文期竪穴群 続縄文期配石坑	300円
第3集	大日堂仏像，他道標遺跡	300円
第4集	郷村史略	700円

大館・津軽ルートを実現しよう